

巻 頭 言

『未来の当たり前をつくる企業  
～ Pioneering the future ～』



代表取締役社長 近藤 忠登史

当社は1950年の創業以来、高度情報化社会における通信・放送インフラ整備や自動車産業の安全性の向上を通じて、より便利な生活環境の実現の一役を担ってまいりました。

当社の取り扱う製品が、各分野において社会に貢献できていることは、長きにわたり諸先輩方が築かれた技術と、それを継承しさらに磨きをかけレベルアップさせてきた賜物であると思っております。

「電興技報53号」刊行にあたり、これまで継続して本技報に携わられてきた方々に深く感謝申し上げます。

先般、2021年3月26日に当社として「中長期経営戦略」を発表させていただきました。当社は、今後のビジョン、いわゆるありたい姿である「未来の当たり前をつくる企業～Pioneering the future～」の実現に向けて、新規事業の創出を始めとした成長戦略を具体化していきたいと考えております。そのためにも、既存技術のさらなる向上と発展はもとより、新技術の研究開発を推し進めていくことが必要不可欠です。研究開発への投資を積極的に行い、次世代通信に向けた研究開発を加速させると共に、熱処理技術を活用した新市場参入の推進も行ってまいります。また、場合によっては自社開発のみならず、他社との協業等も視野に入れ、スピード感を持った研究開発を進めていくことで、企業価値の向上と成長を実現していきます。その結果、社会インフラへの貢献と生活の利便性向上に大きく寄与できると確信しております。

当社は今後、従来以上に新技術の開発と技術力の向上に努め、「未来の当たり前をつくる企業～Pioneering the future～」の実現に向け努力し続ける所存でございます。そして、時代の変化の激しい社会に優れた価値（製品）を提供し、社会に貢献していきます。